

報 告 事 項

【学会活動報告】

1. 2010 年 10 月～2011 年 10 月での主な活動（会長 菊池武尅）

- ・研究大会・研究セミナーの開催：
第 32 回研究大会（大会実行委員長 松井賢二、2010 年 11 月 13 日（土）・14（日）、新潟大学五十嵐キャンパス）
第 29 回研究セミナー（実行委員長 三村隆男、2011 年 6 月 19 日（日）、早稲田大学国際会議場）
- ・学会誌、ニューズレターの発行：
『キャリア教育研究』第 29 巻第 2 号（2011 年 3 月 31 日発行） 第 30 巻第 1 号（同 9 月 30 日発行）。
ニューズレター第 67 号（2011 年 3 月 31 日）、第 68 号（同 5 月 10 日）、第 69 号（同 9 月 30 日）

2. 会員の状況（事務局長 中村修）

2010 年度の定期総会（2010 年 11 月 13 日）より 2011 年度第 2 回理事会（2011 年 10 月 1 日）までに 143 名、2 団体の新会員が承認され入会した。退会者は 108 名、1 団体、物故者 2 名である（入退会とも資料 1 参照）。これより 10 月 1 日時点で一般会員 962 名（内、一般(学生)会員 101 名）、名誉会長 1 名、名誉会員 5 名、賛助会員 8 団体となった。

*総会成立要件については、2011 年度第 2 回理事会（2011 年 10 月 1 日）において承認を受けた一般会員数 962 名を適用する。

3. 会議の開催等（事務局長 中村修）

- ・会議の開催
2010 年度第 2 回常任理事会 2009 年 12 月 23 日（木）国際文献印刷社江戸川橋会議室
臨時常任理事会 2011 年 4 月 13 日～25 日 メール持ち回り審議
2011 年度第 1 回理事会 2011 年 6 月 25 日（土）国際文献印刷社江戸川橋会議室
2011 年度第 2 回理事会 2011 年 10 月 1 日（土）アットビジネスセンター東京駅八重洲通り
2011 年度第 3 回理事会 2011 年 11 月 12 日（土）日本体育大学
- ・会議等への参加（役員・委員の出張）
日本心理学諸学会連合 理事会（2011 年 5 月 7 日(土)、6 月 19 日(日) すべて会長）
日本進路指導協会：
会長感謝状贈呈者選定会議(2011 年 6 月 14 日(火) 会長)
第 58 回全国進路指導研究協議全国大会(2010 年 7 月 28 日(木) 会長)
スクールカウンセリング推進協議会(2010 年 11 月 11 日(木)、2011 年 1 月 24 日(月)、5 月 24 日(火)、
8 月 23 日(火) すべて会長)
- ・共催・後援など
後援名義使用承諾
日本キャリアデザイン学会地方研究会（中四国）（2011 年 9 月 6 日開催）
日本産業カウンセリング学会第 16 回大会（2011 年 9 月 9 日～11 日開催）
第 37 回関東甲信越地区進路指導研究協議会神奈川県大会（2011 年 11 月 4 日開催）
第 38 回関東甲信越地区中学校進路指導研究協議会千葉大会（2011 年 11 月 9 日開催）
第 48 回全九州中学校進路指導研究大会福岡大会（2011 年 11 月 11 日開催）

バーチャル・カンパニートレードフェア 2011

(NPO アントレプレナーシップ開発センター 2011 年 11 月 27 日開催)

サニー・ハンセン先生招聘講演会&ワークショップ

(日本キャリア開発研究センター 中止)

【委員会報告】

1. 学会誌編集委員会報告 (委員長 川崎友嗣)

<学会誌発行・編集状況>

(1) 学会誌の発行

『キャリア教育研究』第 29 巻第 2 号の発行 (2011 年 3 月 31 日付)

『キャリア教育研究』第 30 巻第 1 号の発行 (2011 年 9 月 30 日付)

(2) 論文の投稿・審査状況

・2010 年 1 月 1 日～12 月 31 日 受稿論文数 10 編

・2011 年 1 月 1 日～ 9 月 30 日 受稿論文数 10 編

(内訳は、原著論文 8 編、実践研究論文 1 編、資料論文 1 編)

・2011 年 9 月 30 日時点での論文審査状況

採択済み 0 編

査読・審査中 5 編

投稿者修正中 9 編

2. 研究推進委員会検討・報告事項 (委員長 三村隆男)

(1) 学会員アンケート調査について

平成 22 年 5 月に実施した学会員アンケート調査結果をもとに第 33 回研究大会では大会実行委員会・研究推進委員会共同企画シンポジウムを開催する。さらに、調査結果は、研究大会後、学会ホームページにアップされると同時に学会誌第 30 巻第 2 号に掲載される予定である。

(2) IAEVG 国際大会の開催について

平成 22 年 11 月に設置された国際大会招致検討委員会が学会長からの二つの諮問(1. 国際大会の招致・開催について、2. IAEVG の招致・開催について、その可否)を受け開催検討することになった。

3. 情報委員会報告 (委員長 松井賢二)

1. 委員会メンバー (7 名)

委員長: 松井 賢二 (新潟大学) 副委員長: 鈴木 敏明 (東北大学)

委員: 三宅 章介 (東海学園大学) 浦上 昌則 (南山大学)

白木みどり (上越教育大学) 西條 秀俊 (新潟大学)

原口 恭彦 (広島大学)

2. JSSCE News Letter (第 67 号、第 68 号、第 69 号) の発行 (事務局と共同)

3. キャリア教育関連研究の紹介記事を学会誌『キャリア教育研究』に掲載

○第 30 巻第 1 号 (2011 年 10 月発行)・・・2010 年度発行分の研究論文

・紹介した学会 (掲載順):

日本教育心理学会、 日本学生相談学会、 日本心理学会

日本青年心理学会、 日本特別活動学会、 日本道德教育学会

日本カウンセリング学会

4. 情報委員会の開催

○2010 年 11 月 14 日：委員会の活動方針、キャリア教育関連の紹介記事の執筆分担、等

4. キャリア・カウンセラー資格認定委員会報告（委員長 伊藤彰茂）

【報告事項】

1. キャリア・カウンセラー養成研修講座に関する事項

(1) 2011 年度第 1 回キャリア・カウンセラー養成研修講座

開催日時：2011 年 6 月 19 日(日) 9:00~12:10

会場：早稲田大学 国際会議場（第 29 回研究セミナー会場）

講師：a 分野 高綱睦美先生（愛知教育大学 講師）

「発達支援としてのキャリア教育—夢と自立を中心として—」

b 分野 松本浩司先生（名古屋学院大学 講師）

「キャリア・カウンセリングのケース・スタディ」

受講者数：59 名（事前申込：62 名、欠席：7 名、当日申込：4 名）

(2) 2011 年度第 2 回キャリア・カウンセラー養成研修講座

開催日時：2011 年 11 月 12 日(土) 9:00~12:10

会場：日本体育大学 世田谷キャンパス（第 33 回研究大会会場）

講師：b 分野 清水和秋先生（関西大学 教授）

「心理尺度とその信頼性・妥当性」

c 分野 吉倉英基先生（東放学園映画専門学校）・渡辺芳生先生（東放学園音響専門学校）

「専門学校とエンタテインメントの進路について」

2. キャリア・カウンセラー養成研修基礎講座及びキャリア・カウンセラー研修アドバンス講座に関する事項

(1) 2011 年度キャリア・カウンセラー養成研修基礎講座

開催日：2011 年 9 月 3 日(土)、4 日(日)

会場：新大阪丸ビル 新館（大阪市内）

講座内容：a、b、c 分野開講

a 分野 川崎友嗣先生（関西大学）

「キャリア教育の理解」「キャリアの理論とその適用」

b 分野 三川俊樹先生（追手門学院大学）

「キャリア支援におけるキャリア・カウンセリングの重要性」「キャリア支援に必要なコミュニケーションスキル」「キャリア支援に必要なカウンセリング・スキル」

c 分野 伊藤彰茂先生（愛知みずほ大学）

「産業社会形成の歴史的経緯」「日本企業における外的キャリア形成」「労働とコスト」「事例研究」

修了試験（筆記試験）

受講者数：39 名（内訳：申込者 45 名、欠席者 6 名）

修了試験合格者数：29 名（修了試験受験者数：39 名）

(2) 2011 年度キャリア・カウンセラー研修アドバンス講座（新規開講講座）

開講内容：「キャリア教育プログラムの開発と運営」「キャリア教育とキャリア形成支援に関するコーディネーション、コンサルテーション」「キャリア・カウンセリングの実践と応用」

開催日、会場共に上記 2. (1) と同様

受講者数：10 名（内訳：申込者 12 名、欠席者 2 名）

3. 「学生・生徒に対するキャリア支援力のアップ」セミナーに関する事項

開催日：2011 年 2 月 24 日(木)、25 日(金)

会場：東京アカデミー 名古屋校（愛知県名古屋市内 於）

講師：三川俊樹、川崎友嗣、伊藤彰茂

受講者数：38 名（内訳：申込者 39 名、欠席者 1 名）

4. キャリア・カウンセラー資格の新制度移行に伴う旧制度の扱いに関する確認事項

◎旧制度による書類申請受付期間 2012 年 3 月末日までに資格認定事務局に申請書類が到着した場合の取扱について。

<移行期間決定の経緯について>

2008 年 11 月開催の定期総会にてキャリア・カウンセラー資格の新制度が承認され、以後旧制度と新制度と平行して資格申請が可能となりました。2008 年 10 月 25 日以前に入会が承認された方は、申請条件を満たせば新制度と旧制度のどちらでも選択して申請することが可能でしたが、旧制度での申請は 2011 年度をもって終了いたします。区切りの期日を明確にするならば、2011 年度の定期総会（第 33 回研究大会）までの申請があったものとなりますが、混乱を招く恐れがありますことから、旧制度での書類審査は 2012 年 3 月末日までに資格認定事務局に書類が届いたものだけに限り受け付けることといたします。なお、面接は書類審査後に行われますので、認定日は 2012 年 3 月以降になる可能性があります。2012 年 4 月より新制度での対応のみになります。したがって、2012 年 4 月 1 日以降に申請される場合は「養成研修基礎講座」の受講修了が必須条件となります。

5. キャリア・カウンセラー資格取得・更新ならびに返還状況

認定日・理事会等における報告日	新規	更新	返還
2010 年 11 月 25 日(木)	1	-	-
2010 年 12 月 2 日(木)	1	-	-
2010 年 12 月 12 日(日)	6		
2011 年 6 月 19 日(土)	2	-	-
2011 年 6 月 25 日(土)	3	2	2
2011 年 8 月 27 日(土)	1	-	-
2011 年 10 月 1 日(土)	2	-	1
2011 年 11 月 12 日(土)	7 (※審査中)	-	-

【審議事項】

1. 2012 年度事業計画（案）

- (1) キャリア・カウンセラー養成研修講座の開催
 - ① 1 回目：第 30 回研究セミナー開催時
 - ② 2 回目：第 34 回研究大会開催時
- (2) 第 4 回キャリア・カウンセラー養成研修基礎講座の開催
開催場所：中部地区を予定
開催日：2012 年 9 月 8 日(土)、9 日(日)開催予定
- (3) キャリア・カウンセラー養成研修アドバンス講座の開催
上記養成研修基礎講座と同日、同時間帯に開講予定。
開催場所：中部地区を予定
開催日時：2012 年 9 月 8 日(土)、9 日(日)

5. 倫理委員会報告（委員長 本間啓二）

第 1 回委員会

2011 年 6 月 25 日

検討事項：倫理綱領についての見直しについて意見交換を行った。

第 2 回委員会

2011 年 10 月 1 日

検討事項：訂正箇所の確認と内容の検討を行った。

それ以外に委員会で集まれる回数が少ないため、メールで意見交換を進めた。

6. 選挙管理委員会報告（委員長 横山明子）

今後、2012 年の理事改選に向けて、今度準備作業を進めていく。選挙人名簿のもととなる会員名簿について、会員に配布された最終年度は 2008 年のものであり、名簿改訂から作業を進めていく。

【2012 年度選挙日程】

2012 年 6 月まで：「会員名簿」「選挙人名簿」「投票用紙」作成・印刷

2012 年 6 月末：上記 3 点発送

2012 年 7 月 1 日～15 日：選挙

2012 年 7 月末：開票

2012 年 8 月～9 月：当選者への通知、受諾確認

2012 年 9 月末 or 10 月初旬：理事会で報告

【研究大会・研究セミナー報告】

1. 第 32 回研究大会報告（大会実行委員長 松井賢二）

2010 年 11 月 13 日（土）・14 日（日）の 2 日間にわたり、新潟大学において「学校におけるキャリア教育の“これから”を探る」をテーマに開催された。報告の詳細は、学会誌『キャリア教育研究』第 29 巻第 2 号に掲載した。

2. 第 29 回研究セミナー報告（セミナー実行委員長 三村隆男）

2011 年 6 月 19 日、早稲田大学にて「キャリア教育は社会の要請に込えているか」をテーマに研究セミナーを開催した。午前にポスター発表、午後にシンポジウムというプログラムであったが、参加者 183 名、ポスター発表 20 名（会員 14 名、一般 6 名）であった。

【地区部会活動】

1. 北海道・東北地区部会活動

2010 年度

第 2 回研究会・総会 2011 年 4 月 30 日（土）仙台

（3.11 大震災のため延期）…連絡を兼ねてお見舞い・安否確認など

2011 年度

11 月中 2010 年度総会（特例として資料郵送と意見聴取など展開中）

予定；12 月 10 日（土）第 1 回研究会（ユニックスビル福島 8F）

代表：五十嵐敦（福島大学総合教育研究センター）

副代表：菊池武剋（東北大学名誉教授） 吉野泰正（北海道滝川高等学校）

2. 関東地区部会活動

22 年度 活動報告

第1回 キャリア教育研修会・総会

平成22年 5月15日(土) 日本体育大学にて研修会・総会、参加者59名

日本体育大学 本間啓二 「クレペリン作業性格検査の作業理論や検査結果に表れる諸要因」

第2回 キャリア教育研修会

日 時 2010年7月10日(土) 午後2時00分～午後5時00分

場 所 早稲田大学26号館(大隈記念タワー)302号室

共 催 早稲田キャリア教育研究会

テーマ 「優れた」キャリア教育実践とは何か

～イベント型キャリア教育と日常型キャリア教育の融合～

実践報告者&シンポジスト

糸園容子(東京都立松が谷高校):英語科におけるキャリア教育の実践

深沢享史(東京都荒川区立第三中学校):数学科におけるキャリア教育の実践

小境幸子(埼玉県立岩槻商業高校):商業高校におけるインターンシップの実践

上田雅子(香蘭女学校):ホームルーム活動におけるキャリア教育の実践

指 定 討 論 者 : 築瀬 誠(佼成学園中高校)

コーディネーター:三村隆男(早稲田大学)、参加39名

第3回 キャリア教育研修会

平成22年 9月11日(土) 日本体育大学、参加者44名

発表:「うつ病や不安障害に対する認知行動療法について」南谷則子(認知行動療法セラピスト)

発表:「成功体験ワークショップ」榎野 潤(労働政策研究・研修機構 労働大学校)

関東地区研究大会

平成22年10月 9日(土) 日本体育大学世田谷キャンパス、参加者83名

午前の部 実践発表・演習 10:00～12:10

(1)「大学におけるVRTカードの活用実践」 本間啓二(日本体育大学)

(2)「高等学校におけるVRTカードの活用実践」 滝口厚子(都立大江戸高等学校)

(3)演習 「VRTカードの実施と解釈ー実習を通して理解するー」 室山晴美(JILPT)

午後の部 13:10～17:00

講演「働くこと・生活すること・生きること」 講師 玄田有史(東京大学社会科学研究所教授)

(4)「職業の意義とキャリア教育」 鎌水 浩(千葉県栄町立栄中学校)

(5)「e-ポートフォリオを活用したキャリア教育の実践」 稲垣久美子(京都光華女子大学短期大学部)

(6)「発達ステージと組織形態の違いから探る小中学校でのスクールカウンセリング比較職務論」

金屋光彦(日本体育大学)

(7)「学校が求めるキャリア・ガイダンス その実践」

島津和代(湘北短期大学)

第4回 キャリア教育研修会

日 時 2010年10月9日(土) 午後2時00分～午後5時00分

場 所 早稲田大学26号館(大隈記念タワー)302号室

共 催 早稲田キャリア教育研究会

テーマ 「優れた」キャリア教育を支えるNPO活動

シンポジスト 市野 敬介様(NPO法人企業教育研究会事務局長)

今村 久美様(特定非営利活動法人NPOカタリバ代表理事)

布 昭子様(学校支援コーディネーター、中央教育審議会特別部会臨時委員)

コーディネーター 三村 隆男(早稲田大学大学院教職研究科)、参加62名

第5回 キャリア教育研修会

平成22年11月20日（土）日本体育大学世田谷キャンパス、参加者25名
研 修 「キャリア形成支援の取り組みの実施報告」
講 師 奥田美都子（職業能力開発総合大学校）

第6回 キャリア教育研修会

平成22年12月11日（土）午後2時～5時 早稲田大学26号館（大隈タワー）
日 時 2010年12月11日（土）午後2時00分～午後5時00分
場 所 早稲田大学26号館（大隈記念タワー）302号室
共 催 東京都小学校キャリア教育研究会、早稲田キャリア教育研究会
テーマ 「優れた」小学校のキャリア教育実践
シンポジスト 海藤 美鈴様（江東区立毛利小学校）
坂上 有紀様（茨城県神栖市深芝小学校）
和田 光信様（広島県世羅郡世羅町立中央小学校）
コーディネーター 三村 隆男（早稲田大学大学院教職研究科）、参加者47名

23年度 活動計画（案）

1. 平成23年 5月21日（土）日本体育大学にて第1回研修会・総会を開催予定
2. 平成23年 6月19日（日）第29回研究セミナー 早稲田大学
3. 平成23年 7月23日（土）日本体育大学にて第2回研修会を開催予定
4. 平成23年 10月8日（土）第3回研修会（早稲田大学）
5. 平成23年 11月12日（土）、13日（日）日本体育大学にて第33回研究大会を開催予定
6. 平成23年 12月10日（土）第4回研修会（早稲田大学）

代表 本間啓二（日本体育大学体育学部教授）

副代表 三村隆男（早稲田大学大学院教授）、木村 周（東京成徳大学院心理学研究科客員教授）

3. 中部地区部会活動

1. 第1回研究会（総会時）

日 時：2010年5月9日（日）

場 所：椙山女学園大学看護学部棟202教室

参加者：40名（会員27名、非会員13名）

講 演：「生涯発達とキャリア教育—大学教員生活30年を振り返って—」

講師：後藤 宗理（中部地区部会代表：椙山女学園大学看護学部教授）

コメンテーター：白井利明氏（大阪教育大学教授）

2. 第2回研究会

日 時：2010年8月22日（日）

場 所：椙山女学園大学看護学部棟202教室

参加者：29名（会員18名、非会員11名）

研究発表：テーマ「アメリカにおける『文脈的教授・学習（Contextual Teaching & Learning; CTL）』の展開 —教科教育におけるキャリア教育—」

話題提供者：松本 浩司氏（愛知教育大学非常勤講師）

コメンテーター：高綱睦美氏（愛知教育大学専任講師）

3. 第3回研究会

日 時：2010 年 12 月 19 日（日）

場 所：梶山女学園大学看護学部棟 202 教室

参加者：15 名（会員 15 名）

研究発表：テーマ 「フランスにおける進路指導の展開をめぐる諸相 ―生徒のキャリア形成に向けた学校の挑戦―」

話題提供者：京免 徹雄氏（日本学術振興会特別研究員 DC、早稲田大学大学院 教育学研究科）

代表：後藤宗理(梶山女学園大学)

副代表：浦上昌則(南山大学) 高綱睦美(愛知教育大学)

4. 近畿・中国・四国地区部会活動

第 12 回研究大会を開催

日時：平成 23 年 7 月 10 日（日）13:00～16:45

場所：研究大会 兵庫教育大学神戸サテライト 4・5 講義室

参加者：会員 45 名，非会員 14 名，計 59 名

講演

「若者の自立支援とキャリア教育」長須正明氏（東京聖栄大学）

実践報告

「最近のニート支援の実際」笠谷光氏（コネクションズおおさか）

「ニート、ひきこもりの背景にある問題とその支援の実際について」兵庫大輔氏・

染谷真史氏（NPO 法人フェルマータ）

代表：藤岡秀樹（京都教育大学）

副代表：伊東眞行（ライフデザイン・カウンセリングルーム） 加澤恒雄（広島工業大学工学部）

5. 九州・沖縄地区部会活動

①第 10 回研究大会

開催日：2010 年 12 月 18 日（土） 場所：九州大学

実践報告

基調講演「キャリア教育の組織的運営について」田崎 徳友（九州女子大学）

シンポジウム「キャリア教育の組織化・継続化について考える」

司 会 宮原 清（福岡県立博多松高等学校）

シンポジスト 中神 智文（福岡県教育庁教育振興部高校教育課）

角田 浩子（リクルートキャリアガイダンス編集長）

下田 浩一（福岡県立城南高等学校）

田崎 徳友（九州女子大学）

②第 73 回教育社会学交流セミナー(九州・沖縄地区部会後援)

開催日：2011 年 6 月 20 日（月） 場所：九州大学

報告内容：オバマ時代の教育政策と学校改革

Educational Policy and School Reform in the Age of Obama

報告者：アンソニー バレル 先生(カリフォルニア大学サンタクルーズ校)

ANTHONY J. VILLARREAL(University of California, Santa Cruz)

代表：永田萬享（福岡教育大学）

事務局長：吉本圭一（九州大学）

2011 年度 研究奨励賞 表彰

研究奨励賞選考委員会

委員長：三川俊樹

委員：川崎友嗣、三村隆男、清水和秋、後藤宗理、横山明子、榎本和生、鈴木敏明、中村修

受賞者：富永 美佐子 氏

対象論文：高校生の進路選択の構造

—進路選択能力、進路選択自己効力、進路選択行動の関連—

キャリア教育研究 第 28 巻第 2 号 (2010 年 3 月)

審 議 事 項

1. 2010 年度決算報告および会計監査報告

(事務局長 中村修、 資格認定事務局長 伊藤彰茂、 監事 伊藤一雄、伊藤由美子)

2. 2011 年度上半期予算執行状況 (事務局長 中村修、資格認定事務局長 伊藤彰茂)

3. IAEVG 国際大会日本開催の検討について (会長 菊池武剋)

国際大会の招致・開催について、その意義、招致・開催の可否、招致・開催のあり方等を、国際大会招致検討委員会を設置して検討し、それについて理事会で検討し、以下の結論を得た。

- ・国際大会の招致・開催は学会にとっても意義がある。
- ・IAEVG を 2015 年に招致・開催する。
- ・IAEVG 開催準備委員会を設置する。

経緯 (理事会議事録より)

2009 年度第 2 回理事会 :

三村常任理事より、IAEVG より 2～3 年後の日本での開催の打診があったことが報告された。5 日間程度の大会もしくは 3 日間程度のセミナーのいずれかの形態が想定されること、過去の日本開催時の状況等が報告された。会長より、開催の運びとなる際には関連諸学会との共同開催の形式を検討すること、本学会においては専門の対応組織を作る必要があることが述べられた。次回理事会で改めて検討することとし、会長より三村常任理事と松井常任理事に今後の情報収集等が依頼された。

2009 年度第 2 回常任理事会 :

IAEVG 国際大会の日本開催案について、開催時期は 2013 年が IAEVG より案として提示されていること、今後国際学会開催に関する実績のある業者と予算規模等を明確化する打ち合わせを行っていくことが報告された。

2009 年度第 3 回理事会 :

IAEVG 国際大会日本開催案について、2013 年 9 月開催と想定した場合の業者 2 社からの見積案が提示された。見込まれる参加者・発表者数・発表件数の問題、参加費の設定の問題等が出席者から出され、開催する場合の協力・連携等について関連他学会に意向を打診する調査を次回常任理事会までに行うこととなった。

2010 年度第 1 回常任理事会 :

関連学会に対する意向調査の結果 (2 団体より回答)、IAEVG を過去に開催した諸外国の情報、他学会での国際学会日本開催の準備状況等が報告された。討論の結果、2013 年の開催は見送ること、そしてそれ以降の開催を検討するために特別委員会を 2010 年度定期総会後に発足させ、2010 年度末をめぐりに一定の方向を打ち出すこととなった。

2010 年度第 1 回理事会

IAEVG より当初検討を依頼された 2013 年度開催は見送ることとし、2015 年度もしくは 2016 年度開催を検討する特別委員会を設け検討することとなったことが報告された。

委員会構成 : 委員長 三村隆男 委員 松井賢二、下村英雄、宮城まり子

2011 年度第 1 回理事会

特別委員会として設定された国際大会招致検討委員会 三村委員長より、開催検討結果の答申が行われ、それに対して学会執行部からのリプライが報告された。それに基づいた討論では、国際学会との関係において、IAEVG そして ARACD との関わりについて、検討委員会から役員派遣への学会からの補助の答申があったが、その意義については認められるものの、学会会計への負担の懸念から各種団体からの研究 (発表) 助成等を利用する案も出された。IAEVG の 2015 年開催については、2015 年という開催年の設定に対し、IAEVG からの当初の打診は 2013

年であったこと、これより先に設定することで開催までの準備日程見通しがたてづらくなることなどが検討委員会から説明された。開催に対しては、通常の国内学会よりも高額に設定される参加費に対して、参加者の確保に関する懸念も示された。続いて検討委員会から示された「開催に備えたストック分の金額 300 万円の確保」については、総予算見積が 2000 万円程度であること、あくまでこの金額は不慮の事態が起き開催が中止となった場合のための備えであること、印刷物等の開催前に発生する経費に対する備えであることが検討委員会から説明された。これに対して、確保の仕方について諸案が出され、学会事務局と資格認定事務局から一定金額を一括して支出し、特別会計（基金化）して管理することが提案された。その他、他学会との連携や本学会研究大会との同時開催などの意見が出された。まとめとして、開催に関しては「可」とし、総会報告を経て、今後改めて準備委員会（仮称）を立ち上げること、その準備委員会にてストック分の金額と管理法の検討を行うことが会長から述べられた。

4. HP 移行について（事務局長 中村修）

HP 移転の経緯：本学会が利用している国立情報学研究所「学協会情報発信サービス ホームページ構築サービス」が、「2012 年 3 月 31 日で提供終了」となる。

移転先について、理事会（2011 年度第 1 回理事会、第 2 回理事会）で審議した結果を踏まえ、以下の内容を提案したい。

- ①サーバー管理とセキュリティ対策の問題から、業務委託（レンタルサーバー、更新・管理作業）での HP 運営を行う
- ②業務委託について、事務局機能との連携を重視し、「国際文献印刷社」に委託する
 - ・HP 更新・運営費は月額 1 万円
 - ・利用の初年度のみ、データ移行作業として 3 万円

5. 会員名簿について（事務局長 中村修）

1) 2012 年度に名簿改訂を行う理由：

- ① 2012 年は役員改選年度にあたり、選挙人名簿の元となる会員名簿の情報更新が重要となること
- ② 前回の改訂が 2008 年であり、4 年が経過すること

2) 改訂作業の流れ（予定）

- ①名簿記載項目を決定する
- ②記載項目に合わせ、会員情報データベースからデータを抽出し、会員宛てに郵送し、確認・修正を行っていただく
 - ②-1：①他の発送物と同封せず単体で、②郵便で、送付する。
 - ②-2：回収は FAX やメールで受け付ける。
- ③修正のあった会員のデータを修正する
- ④実際にデータを打ち出して確認・修正する（複数人による目視確認）
- ⑤印刷する

3) 冊子形式での名簿作成におけるデメリット

- ①経費：名簿調査費・印刷製本費あわせておよそ「70 万円」という見通し
- ②作業期間：およそ「6 ヶ月」が見込まれる。

よって、できるだけ新しい名簿情報を会員に提供することは学会の活動として重要であるが、頻繁な更新を行うことが難しいといえる。

4) 提案（2011 年第 2 回理事会での審議結果から）

①web ベースでの会員情報更新・検索の導入（国際文献印刷社提供、「マイページ」機能）

導入のメリット：常に最新の状態の名簿情報を会員に提供できる

印刷・確認等の経費が節約できる

現在、このサービスを導入する経費が無料である

デメリット：IT 環境・スキル等の問題により冊子形式の名簿を求める会員もいることが考えられる。

②2012 年には「冊子形式」で名簿を作成し、同時に学会 HP 上に会員情報検索機能をもたせる

③冊子形式は 2012 年度を最後とし、それ以降は「web ベースの会員情報検索」で会員情報を学会員に提供すること

6. 2012 年度予算(案)（事務局長 中村修、 資格認定事務局長 伊藤彰茂）

7. 第 30 回研究セミナー開催(案)

期日：2012 年 6 月 16 日(土)

会場：上越教育大学

実行委員会：中部地区部会 実行委員長 白木 みどり(上越教育大学)

8. 第 34 回研究大会・定期総会開催(案)

期日：2012 年 10 月下旬(予定)

会場：滋賀大学

実行委員長：若松 養亮(滋賀大学)

9. その他

【資料 2】

日本キャリア教育学会役員名簿 2011年10月現在

役職	所属地区	氏名	所属
会長	北海道東北	菊池 武剋	東北大学(名誉教授)
副会長	近畿	三川 俊樹	追手門大学
常任理事	中部	伊藤 彰茂	愛知みずほ大学
	近畿	川崎 友嗣	関西大学
理事	関東	本間 啓二	日本体育大学
	中部	松井 賢二	新潟大学
	関東	三村 隆男	早稲田大学
	関東	横山 明子	帝京大学理工学部
	中部	後藤 宗理	椋山女学園大学
	近畿	清水 和秋	関西大学
	中国四国	加澤 恒雄	広島工業大学
	九州	吉本 圭一	九州大学
	中部	三宅 章介	東海学園大学
	関東	耳塚 寛明	お茶の水女子大学
	中部	寺田 盛紀	名古屋大学
	北海道東北	國眼 眞理子	東北公益文科大学
関東	藤田 晃之	国立教育政策研究所	
関東	宮城 まり子	法政大学	
中部	白木 みどり	上越教育大学	
近畿	安達 智子	大阪教育大学	
中国四国	原口 恭彦	広島大学	
九州	坂本 昭	福岡大学	
中部	浦上 昌則 *	南山大学	
関東	榎本 和生 *	多摩美術大学	
北海道東北	鈴木 敏明 *	東北大学	
関東	下村 英雄 *	労働政策研究・研修機構	
監事	近畿	伊藤 一雄	高野山大学
	中部	伊藤 由美子	愛知みずほ大学
事務局長	北海道東北	中村 修 *	東北福祉大学
事務局(業務委託)		(株)国際文献印刷社	

* 会長指名理事

学会誌編集委員会

委員長 川崎 友嗣 副委員長 横山 明子
 常任編集委員 清水 和秋 後藤 宗理 古市 裕一 藤田 晃之 安達 智子
 編集委員 五十嵐 敦 下村 英雄 藤岡 秀樹 寺田 盛起 坂本 昭 加澤 恒雄 永田 萬享
 浦上 昌則 河崎 智恵 小泉 令三 白井 利明 高綱 睦美 永作 稔 廣瀬 英子
 小杉 礼子 室山 晴美 古川 雅文 望月 由起 若松 養亮

研究推進委員会

委員長 三村 隆男
 委員 吉本 圭一 耳塚 寛明 榎本 和生 下村 英雄 工藤 榮一 宮城 まり子

情報委員会

委員長 松井 賢二 副委員長 鈴木 敏明
 委員 白木 みどり 三宅 章介 浦上 昌則 西條 秀俊

キャリア・カウンセラー資格認定委員会

委員長 伊藤 彰茂 副委員長 川崎 友嗣
 委員 三川 俊樹 渡辺 芳生 吉倉 英基 長須 正明 中條 敦仁

倫理委員会

委員長 本間 啓二
 委員 望月 由起 若松 養亮 寺田 盛起 國眼 眞理子

選挙管理委員会

委員長 横山 明子
 委員 鈴木 敏明 高綱 睦美 中村 修